



令和 6年 8月 1日

独立行政法人国立科学博物館

企画展「水草展 2024～水草がつなげる世界～」 開催のお知らせ

国立科学博物館 筑波実験植物園（園長：細矢 剛）において、8月8日(木)～8月18日(日)まで、企画展「水草展～水草がつなげる世界～」を開催します。

水草と生物や環境、そして人をつなげる水辺の世界について、さまざまな角度から紹介します。動物との関係に驚き、人とのつながりに未来を感じる、水草と生物が織りなす体験型展示が満載です。

水草タッチプール、アクアリウム作り、食虫水草・魚のエサやり、珍しい水草の観察、美しい水槽など。見て触れて楽しみ、水草の不思議な世界でつながりましょう。

本企画展の開催に先立ち、8月7日(水) 14:30～15:30の間プレス内覧会を実施いたしますので、是非ご参加ください。

※プレス内覧会にご参加を希望される方は、8月6日(火) 17:00までに下記へご連絡ください。



企画展「水草展 2024」ポスター

本件についての問合せ

独立行政法人 国立科学博物館

経営管理部 研究推進・管理課研究活動広報担当：稲葉祐一 中山瑠衣

担当研究員：田中法生（植物研究部 多様性解析・保全グループ 研究主幹）

〒305-0005 茨城県つくば市天久保 4-1-1

TEL:029-853-8984 FAX:029-853-8998

E-mail:t-shuzai@kahaku.go.jp

国立科学博物館HP <https://www.kahaku.go.jp/>

国立科学博物館筑波実験植物園HP <https://tbg.kahaku.go.jp/>

水草展～水草がつなげる世界～ 開催概要

1. 名称：水草展～水草がつなげる世界～
2. 主催：独立行政法人国立科学博物館 筑波実験植物園
3. 協力：(有)エイチ・ツー、TCA 東京 ECO 動物海洋専門学校、富山県中央植物園、魚津水族館、羽生市ムジナモ保存会、(株)エムピージェー、千葉県水産総合研究センター、リンテック（株） ほか
4. 会期：2024年8月8日(木)～8月18日(日) 11日間 ※期間中休園なし
5. 場所：国立科学博物館 筑波実験植物園
6. 開園時間：9:00～17:00(入園は16:30まで)
7. 展示

研修展示館

【水草が環境をつくる】

アマモ場、岩礁、水田、マングローブ、湧水河川などの環境を再現して、水草と生物のつながりを解説します。見るだけでなく、実際にさわったりしながら、様々な環境に生息する多様な生物と水草のつながりについて知識を深めましょう。

- ・岩礁：海草の根元に生息する生物の観察コーナー
- ・水田：水田の水草・生物の再現コーナー
- ・湧水河川：湧水の水草と生物の環境再現コーナー など

【水草なしでは生きられない！？】

水草を使って水面に巣をつくる鳥：カイツブリ、水草を使って水中に巣をつくる魚：イバラトミヨ、水草に産卵し、時には水草から酸素を取り込むゲンゴロウの仲間、水草に産卵する魚や昆虫、水草を食べるさまざまな生物などを、生体や映像、標本などで展示します。水草との深いつながりにきっと驚くでしょう。

【水草をつなげる生物】

水草同士をつなげるのは、水、そして生物です。特に、花粉を運んでもらうための仕組みを紹介します。

【人とつながる水草、人をつなげる水草】

人も水草も水辺で生活してきました。食べ物、薬、衣類、住居、道具、肥料、便所紙、装飾、鑑賞、儀式など、毎日のように使っているものから、レアなものまで、水草と人のつながりの多様性を紹介します。

人の生活とつながりが深いために、絶滅の危機に瀕している水草も多くあります。一方で、それをを守るために人がつながり、水草と人の新たな共存関係が生まれつつあるものもあります。絶滅危惧種や外来種、新たな生育地や保全方法など、最新の研究から人と水草の未来を考えます。

教育棟

【水草の美しさを楽しむ】

日本を代表するプロレリアウターによる水草水槽を展示します。

〈協力〉

上野 知明 (アクアテイク E)

奥田 英将 (ビオグラフィカ)

太田 佳宏 (アクアテイク E)

轟 元気 (e-scape)

千葉 伸一 (e-scape)

早坂 誠 (エイチ・ツー)

小野寺 啓介 (color)

日向 慧 (アクアリウムショップアース)

越智 隼人 (Aqua grass)

森 翔太 (EMAS DESIGN)

佐藤 恭優 (アクアリウムショップアース)

高橋 幸恵 (フロレスタ)

助川 浩之 (AQUA MODO INFINITY)

藤森 佑 (フロレスタ)

鈴木 秀一郎 (SENSUOUS)

【みなさんがレイアウト！みんなで植える水草水槽】

ご来場の方に水草を植えていただき、会期中に大きな水草水槽を完成させます。

いつでもどなたでも、参加歓迎です。

[期間中毎日開催／無料]

8. 体験

研修展示館 1 階

【アマモ場タッチプール】

「海のゆりかご」と呼ばれるアマモ場には、たくさんの海の生物が集まります。そっと触れてアマモと生物のつながりを感じてください。

【食虫水草ムジナモ・タヌキモにエサをあげよう】

パクッと食べるムジナモ、シュッと吸い込むタヌキモ。ムジナモは、牧野富太郎も愛した、全国的にも希少な水草です。顕微鏡を見ながらエサをあげるといふ、おそらく日本初の企画です。貴重な体験をぜひこの機会に。

【岩礁の海草と生き物の観察コーナー】

岩場に固着する海草の根元に広がるミクロな生態系を観察します。

【水草のミクロの世界：浮く仕組みを顕微鏡で観察】

水に浮いたり、水を弾いたり、水になじんだりして生きている水草。そのミクロの世界を顕微鏡で観察していただけます。

研修展示館 2 階

【世界最小の花 ‘ミジンコウキクサ’ を観察しよう】

世界最小の種子植物は、楕円体！ 世界最小の花も咲かせます。その不思議な形を顕微鏡でじっくり観察していただけます。

※開花しないこともあります。あらかじめご了承ください。

研修展示館前の芝生エリア

【「触って楽しむ」水草タッチプール】

水草が水に浮くしくみを、水面に手を入れて、触ったり観察したりしながら、楽しく学べます。

9. イベント

※諸事情により、イベント内容が変更または中止になる場合がございます。

【水草について考えよう：水草クイズラリー】

場所：研修展示館1階・2階

クイズに答えながら、水草展の会場を巡ります。

参加いただいた方にはオリジナルポストカードを差し上げます。

【講座・植物研究最前線 「水草はつながり、つなげる」】要事前予約

水草は生物や環境、さらには人と様々な形でつながっています。驚くような関係性ととも、水辺と人をつなげる水草の未来も紹介します。生きた水草の観察と合わせて、水草と生き物、人と水辺の楽しいつながりを感じましょう。

日時：8月17日（土）13：30～15：00

講師：田中法生（国立科学博物館 筑波実験植物園）

開催場所：研修展示館3階 セミナー室

対象：高校生以上

定員：28名（要事前予約）

申込方法：開催日の1ヶ月前から電話予約（TEL：029-851-5159）

10. ワークショップ

【自分だけのアクアリウムをつくろう】予約不要

子供も大人も楽しいアクアリウムづくり体験です。

小さなガラスの器で水草を育てて、インテリアはもちろん、水中生態系の観察のきっかけにどうぞ。

日時：毎日（予約不要）9：00～16：00（所要時間30分程度）

※混雑具合により、お待ち頂く場合があります。

開催場所：教育棟

費用：要材料費（1000円～各種）

11. オリジナルグッズ販売

会場：ミュージアムショップ

かはくオリジナル水草グッズ（Tシャツ、トートバック、マグカップ、コースターなど）を販売します。

【広報用写真】



〈湧水河川の水草〉



〈水草の巣で子育てをするカイツブリ〉



〈食虫ムジナモが赤虫を捕らえた瞬間〉



〈水草水槽〉



—— 水草が つなげる世界 ——

水草展

2024 8/8 [木] — 8/18 [日] **会期中無休**



[開園時間] 9:00~17:00 (入園は16:30まで)

[入園料] 一般 320円 団体 (20名以上) 250円

・高校生以下および、65歳以上は無料
・障害者手帳をお持ちの方および、その介護者1名無料

主催: 国立科学博物館筑波実験植物園

協力: (有)エイチ・ツー、TCA東京ECO動物海洋専門学校、富山県中央植物園、魚津水族館、羽生市ムジナモ保存会、リンテック(株)、(株)エムピージェー、Aqua grass、アクアテイクE、AQUA MODO INFINITY、アクアリウムショップアース、e-scape、EMAS DESIGN、color、ピオグラフィカ、フロレスタ、千葉県水産総合研究センター、砂沼環境連絡協議会

↓詳しくは
こちらから



筑波実験植物園

〒305-0005 茨城県つくば市天久保4-1-1
TEL:029-851-5159 FAX:029-853-8998
<https://tbg.kahaku.go.jp/>



国立科学博物館
National Museum of Nature and Science

水草は、多様な水環境の中で、他の生物や環境とゆるやかに、ときに密接につながりあって進化してきました。そして私たち人もまた、水辺で生活する中で水草と関わり合って生きてきたのです。水草は、生物や環境そして人とのようにつながって生きているのか？私たちはこれからどのように水草とつながっていくのか？さまざまつながりの不思議に驚き、楽しみながら、未来を考えましょう。

【研修展示館】

水草がつなげる世界

①水草が環境をつくる

水草と生物が作り出すいろいろな環境を体験して、水草と生物のつながりを感じます。



水草と生物が暮らす「アマモ場」



岩の上のミクロな生態系「岩礁」



陸と海をつなげる「マングローブ」



水草と魚の美しい水景「湧水河川」

②水草なしでは生きられない!?

水草で巣をつくったり、水草に産卵したり、水草を食べたり…水草を利用するさまざまな生物を紹介します。



水草の巣を守るイバラトミヨ



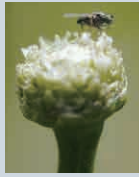
水草の巣で子育てするカイツブリ



水草に産卵するマルガタゲンゴロウ

③水草をつなげる生物

水草同士をつなげるのは、水や生物。花粉を運んでもらうためのしくみを紹介します。



コシガヤホシクサに訪れる昆虫

④人とつながる水草、人をつなげる水草

水草と文化：食べ物、薬、衣類、住居、道具、肥料など、水草の使い方に驚きます。



ハスから布をつくる

水草を守る：絶滅の危機は人間活動がおもな原因。守るために人がつながり、新たな共存関係が生まれつつあるものも。絶滅危惧種や外来種、新たな生育地や保全方法など…人と水草の未来を考えます。



水草を食べるアメリカザリガニ



希少なガシヤモクの発見

水草を体験する



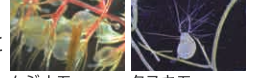
アマモ場タッチプール

海草からなるアマモ場は「海のゆりかご」と呼ばれ、たくさんの生物が集まります。そっと触れて生物のつながりを感じよう。



食虫水草ムジナモ・タヌキモにエサをあげよう

パクッと食べるムジナモ、シュッと吸い込むタヌキモ。ぜひこの機会に貴重な体験を。



ムジナモ

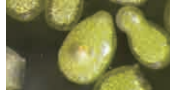
タヌキモ

岩礁の海草と生き物の観察

岩場に固着する海草の根元に生活する、小さな生物を観察できます。

“世界最小の花”ミジンコウキクサを観察しよう!

世界最小の種子植物は、楕円体！世界最小の花も咲かせます。※開花しないこともあります。あらかじめご了承ください。



水草のミクロの世界：浮く仕組みを顕微鏡で観察

水に浮いたり、水をはじいたり、水になじんだりして生きている水草。そのミクロの世界を顕微鏡で観察します。



ミズオジギソウ



オオサンショウモ

「触って楽しむ」水草タッチプール

触ったり観察したりしながら、水草が水に浮くしくみを学びます。



水草クイズラリー

クイズに答えながら、水草展の会場を巡ります。参加者にはオリジナルグッズをプレゼント。

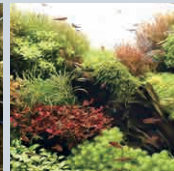


【教育棟】

水草の美しさを楽しむ

日本を代表するプロレイアウトターによる水草水槽を展示します。

【出品者】上野知明・太田佳宏(アクアテイクE)、奥田英将(ピオグラフィカ)、小野寺啓介(color)、越智隼人(Aqua grass)、佐藤恭優・日向慧(アクアリウムショップアース)、助川浩之(AQUA MODO INFINITY)、鈴木秀一朗(SENSUOUS)、高橋華恵・藤森佑(フロレスタ)、千葉伸一・轟元気(e-scape)、早坂誠(エイチツー)、森翔太(EMAS DESIGN)



みなさんがレイアウト！みんなで植える水草水槽

水草を少しずつ植えていただき、会期中に大きな水槽を完成させます。いつでもどなたでも、参加歓迎です。



【教育棟】

自分だけのアクアリウムをつくろう

小さなガラスの器で水草を育てて、水中の生態系を観察しましょう。子供も大人も楽しいアクアリウムづくり体験です。

〈日時〉毎日9:00～16:00
(予約不要)

制作時間は30分程度です。混雑具合により、お待ちいただく場合があります。

〈材料費〉1000円～各種



セミナー【植物研究最前線】

水草はつながり、つなげる－生物、水辺、人、未来－

水草は生物や環境、さらには人と様々な形でつながっています。驚くような関係性ととも、水辺と人をつなげる水草の未来も紹介します。生きた水草の観察と合わせて、水辺のつながりを感じましょう。

〈日時〉8月17日(土) 13:30～15:00
〈会場〉研修展示館3階 セミナー室
〈講師〉田中法生(国立科学博物館 筑波実験植物園)
〈対象〉高校生以上
〈定員〉28名(要事前予約)
〈申込方法〉開催日の1ヶ月前から電話予約
TEL:029-851-5159

オリジナルグッズ販売

オリジナル水草グッズ(Tシャツ、トートバック、マグカップなど)を販売します。

水草博士こだわりのイラストです。※写真は2021年のものです。



トートバック Tシャツ
※マグカップもあります

アクセス

電車・バス

つくばエクスプレス「つくば」駅より
・つくバス 北部シャトル筑波山口行き「天久保(筑波実験植物園)」下車徒歩3分
・関東鉄道バス テクノパーク大穂行き「筑波実験植物園前」下車徒歩3分または筑波大学循環(左回り)「天久保2丁目」下車徒歩10分

自動車

常磐自動車道 桜土浦ICから北(筑波山方面)へ約8km
圏央道 つくば中央ICから約7km
無料駐車場 約120台

